

～家庭でも蚊の発生を防ぎましょう～



家庭の取り組み

- ①気配り } 蚊の発生しにくい環境を
- ②工夫 } 自分でつくる



地域の活動

蚊の発生源となることが多い公共の雨水集水桝へ、自治会など地域の皆さまが自主的に防除液を投入して蚊の発生を防ぎ、快適な生活環境をつくることをめざします。

1. 気配り

不必要な容器は整理整頓し、容器に水がたまっている場合は捨てる。(1週間以上放置しない)

2. 工夫

雨水桝には右図のように網や水切ネットなどを張ることで、蚊の侵入を防ぎ発生を抑えます。

敷地内の
主な発生源



雨水桝



バケツ



植木鉢の受け皿

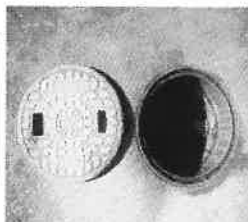


空き缶

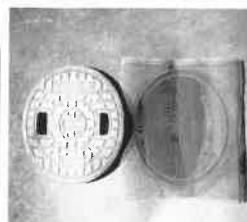


空きビン

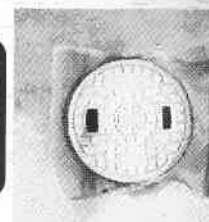
施工前



施工中



施工後



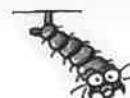
～蚊の生態～

2～5日で幼虫が生まれます。



春から晩秋にかけて
繰り返し発生します

成虫の寿命は
およそ3～4週間です。



7～10日間で4回の脱皮を繰り返し、オニボウフラと呼ばれるさなぎになります。



3日ほどで成虫になります。

～よく見かける蚊の種類は～

○ヒトスジシマカ

昼間に活動し、好んで人を刺します。成虫、幼虫、さなぎはともに冬の寒さで死に絶えます。晩秋に産まれた卵だけが冬を越し、翌年に羽化します。

○アカイエカ

夜間に活動し、屋内に侵入して吸血します。幼虫、さなぎ、成虫のオスは冬の寒さで死滅しますが、メスの成虫は暖かい場所を探して冬を越し、春に産卵します。

【問合せ】堺市生活衛生センター

堺市南区原山台1丁14番13号 Tel 072-291-6464 Fax 072-291-6465

～持続可能な環境にやさしいまちづくりに取り組みましょう～

詳しくは生活衛生センターのホームページをご覧ください

検索 堺市生活衛生センター